

昨年度モデル地区として、地域の実情に合わせた除排雪に取り組んだ皆さんにインタビュー  
 モデル地区では、除雪出動基準を10㌔から15㌔に変更。これによって節約された費用で地域が抱える課題に取り組みました。

## 地域の除排雪ルールを話し合いました

中央区宮の森地区(6町内会合同)



公園を活用した排雪作業

ルールを決めて公園を雪置き場として活用したほか、交差点の排雪強化、警察などと連携した違法駐車パトロールなどを実施。さらに、地域の除排雪ルールを盛り込んだ「除雪対応マップ」も作製しました。

### 地域の連携が強まる

除雪事業者や市と話し合い、地域の除雪ルールを決めたおかげで、作業全体がスムーズに行われました。また、この活動を始めたことで地域の連携が今まで以上に強くなりましたね。雪置き場として活用した公園の春の清掃には130人以上が集まり、驚きました。さらに、冬のパトロール効果が春以降も続き、違法駐車が減るといった波及効果もありましたよ。



左：宮の森東三町内会  
 衛生部部长 清水 順一さん  
 中央：宮の森北二町内会  
 会長 東 健治さん  
 右：宮の森東一町内会  
 環境部部长 小寺 実希さん

## 交差点の排雪を強化しました

西区八軒東和町内会



違法駐車には一合ずつピラで警告

29カ所の交差点で排雪を強化するとともに、パートナーシップ排雪作業の前夜に警察と合同で違法駐車パトロールを実施。さらに、ルールを決めて地域の公園を雪置き場として活用しました。

### 顔の見える関係づくり

交差点の見通しは良くなりましたが、除雪時に道路脇に残る雪への不満が課題です。ただ、懇談会を開催したことで、除雪事業者や市の方と顔の見える関係を築けたことは大きな成果でした。冬に入ってからも地域内を一緒に歩いたおかげで、問題点をすぐに修正することができました。今後も課題解決のために、話し合いを続けていきたいです。



八軒東和町内会会長  
 勝海 敏弘さん



地域、除雪事業者、市の  
 みんなで心と力を合わせて  
 新しい工夫を考えよう!

## 皆さんの声を聞かせてください

これからの雪対策の在り方や、雪国で暮らすアイデアなど、皆さんの考えを聞かせてください。

**応募方法** 住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、はがき、ファクス、ホームページでお寄せください。寄せられたご意見を本誌に掲載させていただくことがありますので、ご了承ください(誌上は匿名も可)。本誌に掲載させていただいた方には共通ウイズカード(1,100円分)を差し上げます。

**送付先** 雪対策室計画課  
 〒060-8611 中央区北1西2 FAX218-5141



## 市長から



札幌市の雪対策は多くの課題を抱えています。しかし予算は限られていますので、「お金がなければ頭を使う」の精神で知恵を寄せ合い、新たな取り組みを進めているところです。快適な冬の暮らしをどのようにしていくか、これからも皆さんと共に悩み、共に考えていきたいと思っておりますので、多くのご意見をお寄せください。

札幌市長 上田文雄

身近な雪の話題と、詳しい雪対策情報が満載のホームページ

▶▶▶ [www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki](http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki)